

なんだか調子が良くないな、と感じた時、あなたはだれに相談しますか？病気の診療だけでなく、日頃の健康管理や生活改善についても相談できる「かかりつけ医」を決めておく心安いです。

＝ 特集 ＝

かかりつけ医を持ちましょう



かかりつけ医を持つことのメリット

こ 家族も含め、病歴や病状、健康状態を把握しているの
で、いざという時にすぐに対応してくれます。また、病気の早期発見にもつながります。

気 軽に受診して、さまざまな健康上の相談ができます。慢性的な病気の患者さんにとっては、継続した治療が受けやすくなります。

食 事や運動など、日常の健康管理のアドバイスが受けられ、新たな病気の予防にもつながります。



検 査、専門的治療、入院などが必要な場合、適切な病院・診療科を紹介してくれます。



かかりつけ医とは

日本医師会によれば、「かかりつけ医」とは「健康に関することを何でも相談でき、必要時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師」のこと。

私たちの生活環境や家族のことまで知ってもらったうえで気軽に相談することができ

る「かかりつけ医」が身近にいれば、自分自身や家族の健康管理にこれほど心強いことはありません。毎日安心して過ごし、いざという時に慌てないためにも、住み慣れた地域の中に信頼できる「かかりつけ医」を持つことが大切です。



かかりつけ医と 兵庫医科大学病院を つなぐ取り組み



地域医療懇談会

阪神南北圏域(尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町)を中心とした各医師会や医療機関の関係者をお招きして「地域医療懇談会」を毎年開催しています。地域の医療機関との連携を強化することで、地域全体で患者さんの治療を支えています。

登録医制度 「武庫川クラブ」

兵庫医科大学病院が開設している登録医制度です。患者さんの紹介などがスムーズに行えるよう、互いに連携を深めていますので、安心して受診いただけます。ぜひ「かかりつけ医」として兵庫医科大学病院の登録医にご相談ください。



登録医の一覧は、兵庫医科大学病院のホームページで見ることができます

阪神医療福祉情報ネットワーク 「h-Anshin むこねっと」

阪神南北圏域において、医療情報をインターネットで共有し、地域全体で医療に取り組むシステムです。兵庫医科大学病院もこれに参画し、患者さんの同意のもと、連携病院やかかりつけ医と診療情報を共有して連携強化を図っています。



<http://mukonet.org/>



患者さん

かかりつけ医からの
紹介状を持って受診



紹介状がなければ、初診として受診する場合、選定療養として別途自費にてお支払いが必要となります。



兵庫医科大学病院

症状が急速に重篤化するおそれのある急性期疾患の診療や、MRI・CTなどを使った精密な検査などを行うのが「病院」の役割。阪神地区の基幹病院である兵庫医科大学病院は、高度な医療を行う「特定機能病院」として、地域医療を支えています。

かかりつけ医を選ぶポイント! Check ✓

- Point_1 ✓ 話をしっかりと聞いてくれて、気軽に相談できる。
- Point_2 ✓ 病気、治療、薬などについて、分かりやすく、納得がいく説明してくれる。
- Point_3 ✓ 必要に応じて、適切な専門医を紹介してくれる。
- Point_4 ✓ できれば家の近くにあり、通院しやすい。



日頃の診察 & 健康管理

詳細な検査や専門的な診療が必要な場合は、病院を紹介

患者さんと かかりつけ医と 兵庫医科大学病院



かかりつけ医
(クリニック・診療所・医院)

私たちの生活にもっとも近いところで日常的な診療にあたる地域の開業医。軽い病気やけがの診療、慢性疾患の診療を中心にしています。

連携



紹介 & 情報提供

報告



症状が落ち着いたら、薬の処方や理学療法、経過観察などは「かかりつけ医」にお願いしています。

医療支援センター

患者さんの診療をスムーズに行うことを目的に、兵庫医科大学病院と地域の医療機関との連携を深めるためのさまざまな活動を行っているのが「医療支援センター」。医師、看護師、ソーシャルワーカー、メディカルスタッフ、事務員の多職種が連携して、患者さんをサポートしています。



私たちの住むまちには、かかりつけ医として日常的な診療を行う「クリニック・診療所・医院」と、兵庫医科大学病院のような「病院」とがあります。役割が異なるこれらの医療機関は、相互に連携して地域の医療を支えています。